



令和5年度 福島区の主な事業 (保健福祉・総務部会)



- ▶ 令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことにより、区役所や地域においても様々な事業を実施できるようになってきています。
- ▶ また、「大阪・関西万博」の開催まで後1年半であるので、様々な事業の場を活用して機運を盛り上げてまいります。
- ▶ 今回の部会では、今年度の運営方針にかかる各事業の進捗状況を報告します。
- ▶ 本報告内容に加え、令和6年度の福島区事業計画案の策定に向けて、委員の皆様のご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

1 次世代を元気に育むまちづくり (子育て関連施策の充実)



子育てに対する負担感・疲労感・不安感の軽減のための「にこにこ広場」「授乳相談」「親子の絆づくりプログラム赤ちゃんがきた！」等や、母親の健康づくりのための「美ママ講座」、親子が交流できる「赤ちゃん広場」等の子育て支援事業を実施しています。

1 次世代を元気に育むまちづくり (教育関連施策の充実)



運動への関心を高めるためにプロのスポーツ選手を学校に派遣するゲストティーチャー派遣事業を、中学校は毎年、小学校は毎年4～5校ずつ実施しています。

また、基礎学力向上のために、中学生及び小学5・6年生を対象に、課外学習事業（TERAC O）を区民センターで週2回実施しています。

その他、不登校の課題を抱える学校を支援していきます。

2 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり (地域福祉関連施策の充実)



区内10地域に設置されている身近な相談窓口「みんなの相談室」、ちょっとした困りごとを有償ボランティアがサポートする「福島お助けネットワーク」について、さらなる事業周知に努めながら実施しています。

また、地域でのつながりづくり、支え合い・助け合いの意識啓発・情報発信に取り組んでいます。

2 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり (健康関連施策の充実)



生活習慣病の予防とがんの早期発見、早期治療に非常に重要な健康診査や各種検診の啓発並びに受診率の向上などを目的に、区役所や地域における健康講座の開催と広報誌、SNSなどによる各種案内の充実を図っています。

また、介護が必要な状態になることをできる限り予防し、地域でいきいきと自分らしい生活を送ることができるよう、区役所や地域における各種講座の開催並びに百歳体操の普及と継続支援に取り組んでいます。